

EC療法を受けられる方へ

担当薬剤師

外科 ID:

様

【投与スケジュール】

	1 日目	2～21 日目
エピルビシン	○	
エンドキサン	○	

☆3 週間ごとに繰り返し投与します。

☆検査の結果によりスケジュールや投与量が変わることがあります。

【点滴内容】

抗がん剤投与 1 時間前
アプレ°タントカ°セル(125) 1C

内 服

アロキシバッグ 0.75mg
ガスター 20mg
デキサート 9.9mg

15 分

生理食塩液 50mL
エピルビシン mg

10 分

生理食塩液 250mL
エンドキサン mg

30 分

生理食塩液 50mL

15 分

ペグフィルグラスチム BS 皮下注 : 抗がん剤投与 24 時間後に皮下投与
白血球 (好中球) の減少を抑える薬です。

※ペグフィルグラスチム BS はジューラスタのバイオシミラーです。
バイオシミラーについては別紙を参照してください。



アロキシ
ガスター
デキサート } : 吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。

エピルビシン
エンドキサン } : 腫瘍細胞が増えるのを抑える薬です。

【主な副作用と対策】

アナフィラキシー様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。

息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

血管痛・静脈炎：お薬が血管を刺激するため、投与中・投与後に血管の痛みや腫れが起こることがあります。また、血管に沿って色が着く場合もあります。

白血球減少：投与後 7～14 日頃に最も減少すると言われています。

白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。



血小板減少：投与後 7～21 日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振・悪心・嘔吐：投与後～7 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。



脱毛：投与後 14～21 日経つと抜け始めます。治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。



色素沈着・爪の変形：皮膚や爪の色が着色したり、爪が変形してしまうことがあります。治療が終了すれば徐々に元に戻ります。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。



便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

下痢：下痢をしている間は脱水にならないように水分を摂取しましょう。



発疹：皮膚が赤くなったり、かゆみが出ることがあります。ひどい場合には知らせてください。

尿の着色：エピルビシンにより、尿が赤くなることがありますが薬の影響ですので心配いりません。
2-3 日で元の色に戻ります。

出血性膀胱炎：投与後 2-3 日で、尿が近い・赤くなる・残った感じがする・排尿時痛があるといった症状が起こることがあります。十分な水分摂取をして予防しましょう。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。普段より息が切れる、動悸がする、締め付けられるような胸の痛みといった症状がある場合には知らせてください。

間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。
咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



卵巣機能低下：エンドキサンの影響で、生理が止まってしまうことがあります。

【内服薬について】

*** この治療を受けられる方には、副作用対策として内服薬が処方されることがあります。**

□ **アプレピタント (125)**：1 日 1 回 1 カプセル 点滴開始 1 時間前に内服
吐き気止めです。



□ **アプレピタント (80)**：1 日 1 回 1 カプセル 朝食後 点滴した翌日から 4 日間内服
吐き気止めです。



□ **デカドロン錠 4mg**：1 日 2 回 1 回 1 錠 朝・昼食後 点滴した翌日から 3 日間内服
吐き気止めです。



□ **ナウゼリン OD 錠**：吐き気時 1 回 1 錠 内服
吐き気止めです。
食事をする場合には食前に内服したほうが効果的です。



□ **センノシド錠**：便秘時 1 回 1~2 錠 内服
下剤です。吐き気止めにより便秘になる可能性があります。
適宜調節して内服してください。
内服後 8~12 時間で効果が現れます。



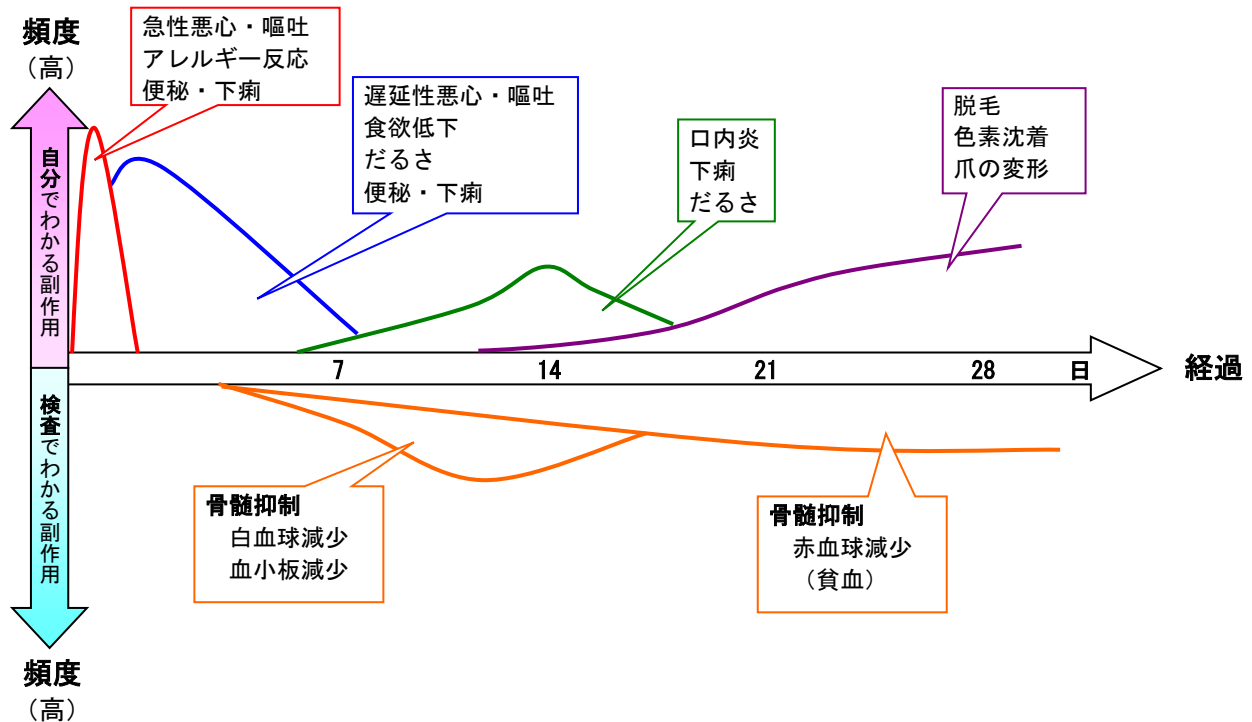
□ **ファモチジン D 錠 10mg**：1 日 2 回 1 回 1 錠 朝食後・寝る前
胃酸を押さえる薬です。吐き気を抑える効果もあります。



- オランザピン OD 錠 2.5mg : 投与当日 ; 点滴投与前に 1 錠 内服
点滴した翌日から 5 日間 ; 1 回 1 錠 寝る前



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【日常生活で注意していただきたいこと】

- ① 抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。抗がん薬投与後 2 日間(48 時間)は、トイレのふたを閉めて水を 2 回流しましょう。男性の方は尿の飛び散りを防ぐために座って排尿しましょう。
- ② ご家族が吐物や排泄物を処理する場合には必ず手袋をしましょう。
汚染したゴミはビニール袋に入れて口元をしっかり閉じてから廃棄してください。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

